

2019年度（2019.4.1～2020.3.31）事業報告・決算報告

I. 2019年度 事業報告

当財団は青少年の健全育成を目的として1974年に設立され、現在は子ども文庫助成事業と電子図書普及事業を行っている。2019年度は、子ども文庫助成では44回目の助成を行った。電子図書普及事業では、マルチメディアDAISY図書の製作配布を9年間行い、2019年度では1,431ヶ所に配布した。

子ども文庫助成事業

1975年より継続して実施している国内外で子どもの読書活動を草の根活動として携わるボランティアの皆様への助成に加え、2019年度も東南アジアの子どもたちに向けた「シャンティ絵本を届ける運動」、及び被災地支援を継続している。

1. 2019年度 助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通り。

() 内は海外件数、内数 (金額単位：百万円)

	予 算		応募件数	実 績	
	助成件数	助成金額		助成件数	助成金額
① 子どもの本購入費助成	42	12.6	67 (5)	46 (5)	13.8
② 病院読書支援 購入費助成	3	0.9	3 (0)	3 (0)	0.9
③ 子どもの本100冊助成	33	5.0	53 (7)	20 (5)	2.9
④ 子ども文庫功労賞	2	0.7	4 (0)	2 (0)	0.7
⑤ その他読書支援					
シャンティ絵本を送る活動		2.4			2.3
被災地支援		1.6			1.7
小 計	80	23.2	127 (12)	71 (10)	22.3
(内、指定寄付金に基づく助成)		(3.0)			(3.1)
贈呈式 費用※		4.1			0.3
その他 事業費		10.4			9.3
人件費		17.7			17.8
合 計		55.4			49.7

※贈呈式は2020年度に延期したため、0.3百万円の費用計上。

2. 子ども文庫助成事業プログラム概要

①子どもの本購入費助成（現金助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、こども文庫連絡会等で、子ども達の読書啓発活動を

行っている民間の団体又は個人、及び実質的に草の根運動とみなされる団体。

- ・内容

図書等の購入、充実を目的とした購入費を1件当たり30万円助成。

②病院・施設子ども読書活動費助成（現金助成）

- ・対象

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設等の子どもたちに対し読書啓発を行っている民間の団体又は、個人及び実質的に草の根運動とみなされる団体。

- ・内容

子どもたちが読書を楽しむための図書等の購入、及び障害のある子どもたちに対する支援機器等の購入、図書作成のための費用を含み30万円助成。

③子どもの本100冊助成（図書現物助成）

- ・対象

上記①、②共通

- ・内容

当財団が選書した100冊の児童書セット（小学校低・中・高学年別の3種類及び150冊リスト）のうち1セットを贈呈。

④子ども文庫功労賞

- ・対象

子ども文庫を長年に亘り（20年以上）運営されてきた個人で、子どもの読書啓発活動に貢献されてきた方。第三者のご推薦による申し込み。

- ・内容

賞状、副賞（30万円及び記念品）

⑤その他読書支援

シャンティの絵本を東南アジアの子どもたちへ贈る運動

- ・対象

カンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマーの子ども達。

- ・内容

シャンティ国際ボランティア会が主宰するカンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマー等に、日本語の絵本を贈る運動。東日本大震災の被災地の子どもたちや、伊藤忠商事社員と活動に参加し、2019年度は900冊を送った。

被災地支援

- ・内容

全国学校図書館協議会に協力頂き、東日本大震災で岩手・宮城・福島6小学校、西日本豪雨災害で広島県の2小学校、令和元年東日本台風19号被害で福島県、栃木県の4小学校、合計で12校に12セットの図書を寄贈した。

電子図書普及事業

障害があるために、通常の書籍では読む事が困難な子どもたちの「読書環境の向上」の為、児童書を電子化し、「わいわい文庫」と名づけ、全国の公共図書館や特別支援学校等へ寄贈している。あわせて、「わいわい文庫」の普及と、障害のある子どもたちの読書支援をサポートする「読書バリアフリー研究会」の主催や、「福祉機器展」等への出展を全国各地で行っている。

1. 電子図書の製作、配布

前年度製作した電子図書 83 作品を 1,431 団体に寄贈した。ここ数年の特徴として、普通学校からの寄贈希望が増えており、今年度も90校増加した。

2019年度は91作品を製作。6年前から各地の図書館に協力を求め進めている「日本昔話の旅シリーズ」は、全都道府県が揃い、累計54作品となった。又、日本障がい者スポーツ協会、国際協力機構（JICA）、などの協力を得て、各団体のパンフレットを電子化した。

配布年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
寄贈作品数	66	70	74	83
寄贈先	1,121	1,231	1,318	1,431

2. 利用促進活動

- ・「わいわい文庫」の利用促進と利用者の利便性向上を目指し、「わいわい文庫活用術⑧」及び、製作済みの作品の分類表である「わいわい文庫 Area Map」を作成した。

3. 広報・啓蒙活動

① 読書バリアフリー研究会の開催

各地の公共図書館の協力のもと、文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会、開催地の教育委員会の後援を得て大学教授などの専門家を招き開催した。障害のある子どもたちへの読書支援に必要な知識・方法を教職員、図書館員、ボランティアの皆様にご覧いただき事を目的としている。

日程	会場	参加人員
5月18日（土）	国際子ども図書館	144
6月29日（土）・30（日）	新潟県立図書館・高崎市立中央図書館	105
7月13日（土）・14日（日）	奈良県立図書館情報館・愛知県図書館	102
11月2日（土）・3日（日）	青森市民ホール・福島県立図書館	67
12月15日（日）	長崎県立長崎図書館	72
	合計	490

② 福祉機器展等への出展

教職員、図書館員、福祉関係者等の関係者が集まる会に参加し、「わいわい文庫」の周知を目的に展示を行った。

4月	こども読書推進フォーラム（文部科学省主催・東京）
6月	全国音訳ボランティアネットワーク第7回総会（東京）
7月	日本子どもの本研究会全国大会（東京）
11月	日本LD学会（神奈川） 千葉県立松戸特別支援学校（千葉）
12月	ATACカンファレンス（特別支援教育研究会・京都）

③ 他団体主催講演等への協力

主催団体の依頼を受け、講演や執筆を行い、財団事業の周知を行った。

	展示会名
6月	全国音訳ボランティアネットワーク第7回総会 分科会（東京）
7月	島根県立図書館研修会（島根県隠岐の島）
8月	大阪府立中央図書館研修会（大阪） 霧島市司書部会研修（鹿児島県霧島市）
10月	島根県学校図書館担当者研修（島根県浜田市）

4. 電子図書普及事業部 経費内訳

	予算	実績
・製作・普及等事業費	10.7	8.7
・その他 経費	8.8	9.6
・人件費	19.4	20.8
（内、指定寄付金）	（0.0）	（0.0）
計	38.9 百万円	39.1 百万円

2019 年度（2019.4.1～2020.3.31）事業報告書の附属明細書

2019 年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補捉する重要な事項が存在しないことから作成していない。

2020 年 3 月 31 日
公益財団法人伊藤忠記念財団